

令和元年度第2回 愛西市子ども子育て会議 会議録（概要）

会 議 名	令和元年度第2回 愛西市子ども子育て会議
開 催 日 時	令和元年11月18日（月）午後2時00分から午後3時00分まで
開 催 場 所	愛西市役所 南館1階 会議室1-4
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	青木夕紀子委員
議 事 等	<p>●議事</p> <p>(1) 第2期愛西市子ども・子育て支援事業計画（素案）について</p> <p>(2) 第2期愛西市子育て応援プラン（素案）について</p> <p>(3) 幼児教育・保育無償化について</p>
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0人
会 議 資 料	<p>資料1 第2期愛西市子ども・子育て支援事業計画(素案)</p> <p>資料2 愛西市子育て応援プラン 2020 - 2024 (素案)</p> <p>資料3 幼児教育・保育無償化 周知用ちらし</p>
審 議 経 過	別紙のとおり

愛西市子ども子育て会議委員

役 職	氏 名	備 考
委員	吉村 讓	
〃	渡邊 祐香理	
〃	佐藤 言葉	
〃	諏訪 淑子	
〃	山北 茂代	
〃	堀田 真吾	
〃	吉川 哲也	
〃	青木 夕紀子	欠席
〃	藤原 昭子	
〃	大江 千恵子	
〃	黒田 意津美	
〃	佐合 理枝	
〃	飯野 大輔	

事務局

役 職	氏 名	備 考
健康福祉部長	伊藤 裕章	
子育て支援事業担当 部長兼児童福祉課長	中野 悦秀	
健康福祉部参事	兼子 利雄	
児童福祉課 課長補佐	伊藤 義幸	
課長補佐	佐藤 安成	
主査	堀田 紫津子	

審議経過

発言者	内容（概要）
事務局	開会 この会議については、公開となっているが、本日の傍聴はなし。
会長	協議事項（１）第２期愛西市子ども・子育て支援事業計画（素案）について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料１に基づき説明
会長	委員の皆様から意見、質問はありますか。
委員	一時預かり事業の量の見込みについて、愛西市は余裕活用型で行っているとのことだが、周知はどのようにされているか。周知されていないのにニーズ量を見込むのはどういうことか。実際は、この事業について保護者は誰も知らない状態だと思われる。ちなみに近隣市では、常に毎月の一時預かり事業は満員だと聞いている。
事務局	委員の発言のとおり、現状としては当事業を公立保育所において余裕活用型で行っている。あくまで利用者数に余裕がある場合に行っており、積極的にPR・アナウンスを行っても受け入れられる余裕がない。広く周知はしていないが、保護者から相談があった場合に事業の紹介をしている。
委員	今は各園でどのくらいの余裕があるのか。
事務局	現状としては、３歳以上児については多少余裕がある。
委員	０・１・２歳児はないということか。
事務局	お見込みのとおり。
会長	今後も周知していくことはないということか。
事務局	３歳以上児については各園で若干の余裕があると聞いているが、実際には２歳児以下のご要望が多い。年齢によって保育士の配置基準が異なり、人材確保が厳しい状況。 当事業について積極的に周知をしてしまうと受け入れられず、マッチングできないことが予測されるため、市では周知はしていない。 ただし、窓口等で利用についてご相談あれば、各園に確認して利用できる状態であれば紹介をしている。
委員	園の空き部屋等の活用はされないのか。

事務局	保育士がいれば受け入れることが可能。現在は部屋ではなく人材的なものが足りていない。
会長	余裕活用型で受け入れられない場合はファミリーサポートセンターを紹介する形になるのか。
事務局	お見込みのとおり。
会長	計画の中でファミリーサポートセンターの質の向上等がうたわれているが、具体的にはどのような内容か。
事務局	ファミリーサポートセンターで会員に対して研修会を実施している。今年度の計画では、講習会を1回あたり2時間のものを9回、研修会3回、交流会3回、サブリーダー会議4回等、計画的な質の向上に努められている。
会長	愛西市はファミリーサポートセンターに病児・病後児をお願いすることになっており、かなり配慮を要する子どもたちを預かることになる。研修の内容について市がどのくらいチェックしているのか。
事務局	研修内容のチェックではなく、ファミリーサポートセンターから研修内容について情報を得ている。例えば子どもの病気については小児科医や保健師、ケガや事故については小児科医や消防署員、子どもの食事については栄養士に講師を依頼する等、それぞれの目的・内容に沿った講師を選定して研修を行っているかと把握している。
会長	78 ページの実費徴収に係る補足給付を行う事業について、愛西市の場合は年収 360 万円以上相当世帯にも月に市独自で副食費の補助を行うと説明があったが、言葉を変えて明確にならないか。
事務局	国の制度で年収 360 万円未満相当世帯については 4,500 円程度免除、それを超える世帯についても 10 月から市独自で副食費を月額 3,500 円までを上限として補助をしている。
会長	このことについては、市民に周知されているか。
事務局	周知している。
会長	協議事項（2）第2期愛西市子育て応援プラン（素案）について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料2に基づき説明。

会長	委員の皆様から意見、質問はありますか。
委員	市内の子育て支援センターは全部記載されていないのではないかと。
事務局	確認し、全施設を記載する。
会長	23 ページの「こんにちは赤ちゃん事業」について、実績が件数で示されているが実施率はどれぐらいか。
事務局	保健師または母子保健推進員が訪問等を行っているためほぼ 100%と聞いている。担当課に確認し、実施率も記載する方向で進める。
会長	41 ページの子育て支援世帯への経済的支援について、以前は生活保護世帯への経済的支援だったので実績としては保護世帯で構わないが、保護世帯以外も含めた世帯の支援となるなら、保護世帯だけを実績にあげるのはいかがなものか。
事務局	各課に確認し、検討・修正する。
会長	協議事項（3）幼児教育・保育無償化について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料3に基づき説明。
会長	委員の皆様から意見、質問はありますか。
副会長	10 月からすでに始まっているが、無償化になってから幼稚園・保育園・認定こども園に入られたお子さんは何人いるか。先ほど人材的な余裕がないと話があったが、それに対応できているのか。
事務局	無償化に伴って途中入園が急に増加したということはない。 10 月が来年度の入所受付時期であり、園によって定員いっぱいになることはあるが、基本的には待機児童が出るほどではない。
委員	情報として、このような補助を出しているのは県内では愛西市のみ。東京都では 23 区中 21 区くらいは完全無償となっている。全国的にまだまだ補助制度がない中で愛西市は早い段階でできているため、愛西市に住んでほしい気持ちが伝わるといい。
会長	このことをもっと PR したらどうか。
事務局	このことについては記者発表して新聞記事には出ている。所得制限無しで

	<p>県内の一部の村で実施されている。元々愛西市自体が保育料を安く設定しており、その分を国・県・市で持つことになった為にできた財源で子育てしやすいまちとして行っている。</p>
委員	<p>その辺があやふやになっている市町村がたくさんある。そのお金を子どものために使うと言っているけど他のものに流れていってしまう市町村もあると聞く。</p>
事務局	<p>この制度については、先ほど委員から言われた東京 23 区その他、東海地方では三重県志摩市が実施すると聞いている。愛知県内で、町村は別として市部では初めてとなる。</p>
会長	<p>その他事項で事務局から連絡があればお願いします。</p>
事務局	<p>今後の予定について、皆さんからいただいた意見・修正点等を加味してパブリックコメントを12月3日（火）から12月26日（木）まで実施する。市民の方から意見をいただいた上で次回の会議を開催し、最終的に計画が策定される流れとなる。 次回会議については2月中旬に開催予定。</p>
会長	<p>閉会のあいさつ</p>